

会 議 概 要

会 議 の 名 称	令和7年度 第1回湧別町スポーツ推進委員会議
開 催 日 時	令和7年4月24日（木） 18時30分 開会 19時30分 閉会
開 催 場 所	文化センターTOM 研修室
出 席 者 名	委員：石川、黒田、白田、海谷、水牧、松本、遠藤、藤本、 今野、太田各委員 10名 教育委員会：阿部教育長、西海谷課長、藤本主幹、 仁木主査、三浦主事 5名
欠 席 者 名	小橋、岸下各委員 2名
傍 聴 人 の 数	なし
会 議 の 内 容	議案第1号 湧別町スポーツ推進委員長及び副委員長の選出について 議案第2号 オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会役員の推薦について 議案第3号 湧別町健康づくり推進協議会委員の推薦について 協議第1号 令和7年度スポーツ振興事業・予算について 協議第2号 ゆうべつアクティブチャレンジ2025について 協議第3号 第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会について 協議第4号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について 協議第5号 令和7年度研修予定について
会 議 資 料	令和7年度第1回スポーツ推進委員会議議案
会 議 録	■ 有 (□全文筆記 ■要点筆記) □ 無
備 考	

て ん 末 書

記録者職氏名

社会教育課 社会教育グループ 主 査 仁木 宏紀

1. 日 時 令和7年4月24日（木） 18時30分 から 19時30分まで
2. 場 所 湧別町文化センターTOM 研修室
3. 会議又は用務 令和7年度 第1回湧別町スポーツ推進委員会議
4. 出席者 委員：石川、黒田、白田、海谷、水牧、松本、遠藤、藤本、今野、太田 10 名
(欠席委員：小橋、岸下 2名)
教委：阿部教育長、西海谷課長、藤本主幹、仁木主査、三浦主事 5名
合計 15名

5. 結果要旨

- 1) 開 会 西海谷課長
- 2) 委嘱状交付 阿部教育長より出席委員へ委嘱状の交付を行った。
- 3) 教育長挨拶 阿部教育長
- 4) 議 事

以下の議事については議案第1号については阿部教育長、その後は委員長が進行を行った。

■議案第1号 湧別町スポーツ推進委員委員長及び副委員長の選出

- ・推薦により委員長に石川克己氏、副委員長に黒田志津保氏を選出した。

■議案第2号 オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会役員の推薦について

- ・委員長である石川克己氏を推薦することに決定。

■議案第3号 湧別町健康づくり推進協議会委員の推薦について

- ・副委員長である黒田志津保氏を推薦することに決定。

■協議第1号 令和7年度スポーツ振興事業・予算について

- ・前年度からの変更点、新規事業などについて抜粋して説明。⇒了承

■協議第2号 ゆうべつアクティブチャレンジ2025について

・昨年度は湧別町独自のチャレンジデーとして実施したが、令和7年度より笹川スポーツ財団主催による「アクティブチャレンジ」が開始されることとなったことから、湧別町としても参加することとなった。以前のチャレンジデーとの違いは他自治体との参加率を競う対戦形式ではなく、各地域で抱える社会課題に対しスポーツを通じて解決にむけた取組を行うこととなる旨の説明を行った。

・スポーツ推進委員に出役いただくプログラムについても説明し、詳細の出役状況については開催日が近くなったら調整することとした。

■協議第3号 第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会について

- ・大会の詳細等を説明し、ボランティア従事者については下記のとおり確定した。

黒田、白田、遠藤、太田各委員（小橋、岸下委員については、現在確認中）計6名予定

※従事内容については、スペシャルドリンクの受取、走路誘導とする。

■協議第4号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番について

- ・毎月1回発行している生涯学習情報誌「湧く湧く」について、スポーツ推進委員へも依頼する旨説明した。

なお、原稿依頼については、1ヶ月前に依頼文書を送付する。

■協議第5号 令和7年度研修予定について

①北海道スポーツ推進委員研究協議会

- ・期日 令和7年10月11日（土）
- ・場所 岩内町
- ・研修人員 3人（石川、白田、遠藤各委員）

※出席者については変更の場合あり。

②オホーツク管内社会体育振興セミナー

- ・期日 11月15日（土）～16日（日）
- ・場所 湧別町
- ・研修人員 全員

今年度は湧別町が担当となっていることからスポーツ推進委員には運営をして頂くこととなるので基本的には全員の参加をお願いしたい。次回会議で詳細を決定していくことで了解を得た。

5) そ の 他

6) 委員長挨拶

7) 閉 会

令和7年度

第1回湧別町スポーツ推進委員会議案

◆とき 令和7年4月24日（木）

18時30分～

◆ところ 文化センターTOM 研修室

湧 別 町 教 育 委 員 会

■スポーツ推進委員出席者名簿

氏 名	出欠	氏 名	出欠
小 橋 百合香		水 牧 一 郎	
黒 田 志津保		松 本 桃 子	
石 川 克 己		遠 藤 真 愛	
白 田 ゆかり		藤 本 竜	
海 谷 政 貴		今 野 愛 海	
岸 下 彩 乃		太 田 愛	

■ 教育委員会出席者名簿

- | | | |
|-----------------|-----|-------|
| ・ 教育長 | | 阿部 勉 |
| ・ 社会教育課 | 課 長 | 西海谷 巧 |
| ・ 社会教育課 | 主 幹 | 藤本 祐司 |
| ・ 社会教育課社会教育グループ | 主 査 | 仁木 宏紀 |
| ・ 社会教育課社会教育グループ | 主 事 | 三浦 茉畝 |

(会 議 日 程)

1) 開 会

2) 委嘱状交付

3) 教育長挨拶

4) 議 事

議案第1号 湧別町スポーツ推進委員長及び副委員長の選出について P1

議案第2号 オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会役員の推薦について
P1

議案第3号 湧別町健康づくり推進協議会委員の推薦について P1

協議第1号 令和7年度スポーツ振興事業・予算について P2～5

協議第2号 ゆうべつアクティブチャレンジ2025について P6～9

協議第3号 第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン大会について P10～12

協議第4号 湧く湧く「スポーツ推進委員さんのある一日」記事寄稿の順番に
ついて P13

協議第5号 令和7年度研修予定について

①北海道スポーツ推進委員研究協議会

- ・期 日 令和7年10月11日(土)
- ・場 所 後志管内 岩内町
- ・研修人員 3人

②オホーツク管内社会体育振興セミナー

兼遠軽・紋別ブロックスポーツ推進委員研修会

- ・期 日 令和7年11月15日(土)～16日(日)
- ・場 所 湧別町
- ・研修人員 全員

5) そ の 他

6) 委員長挨拶

7) 閉 会

議案第 1 号 湧別町スポーツ推進委員長及び副委員長の選出について

委 員 長 _____

副委員長 _____

任 期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（2 年）_____

議案第 2 号 オホーツク管内スポーツ推進委員連絡協議会役員の推薦について

役員 1 名 _____

任 期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（2 年）_____

議案第 3 号 湧別町健康づくり推進協議会委員の推薦について

委員 1 名 _____

任 期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日（2 年）_____

令和7年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
大会の開催等	①第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン	6/29(日)	湧別総合体育館裏	100kmスタート午前5時00分（100kmの部） 総合体育館裏（東道路上） ※40回記念大会として実施	負担金 3,000千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②湧別町少年柔道大会「上野カップ2025」	10/11(土)～12(日)	湧別総合体育館	本町のふるさと応援大使であり、柔道オリンピックメダリストの上野姉妹の冠を掲げた全道規模の小・中学生の柔道大会を開催することにより、少年相互の親睦を深め、町の活性化や交流人口の増加を図る。 参加規模：道内外小・中学生400名 大会には上野姉妹のほか、現役の女子柔道の著名人を招致する予定。	歳入総額 2,874千円 参加料700千円 スポーツ振興くじ 2,174千円 歳出総額 3,376千円	
	③第50回町民300歳バレーボール大会	12/7(日)	中湧別総合体育館・湧別総合体育館	自治会対抗形式9人制バレーボール大会 ※50回記念大会として実施	消耗品195千円 食糧費33千円	
スポーツ教室・講習会	①夏の短期水泳初級教室	8/6(水)～8/8(金)	湧別プール	正しい泳法を習得させるとともに、泳ぐことの楽しさを味わわせ、水泳の普及拡大を図る。 講師：藤田 千秋（トッカリ湧波会） 小橋 百合香（スポーツ推進委員） 対象：各学園1～6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬7千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	②ニュースポーツdeあそび「モルック大会」	9月13日（土）	中湧別ゲートボール場	町内の成人層を対象にスポーツを通じて健康や体力づくりを高めるきっかけづくりと新しいスポーツの普及や地域の活性化を図る。アクティブチャレンジ期間中に合わせてモルック大会を実施する。 指導者：スポーツ推進委員 対 象：町内に在住の方	スポーツ推進委員 報酬32千円	
	③ジュニアスケート教室	R8. 1/6(火)～8(木)	芭露スケートリンク	町内の各学園（1～6年生）に対してスケートの楽しさを味わわせるとともに、技法を習得させる。 講師：久保 拓也（芭露） 松本 桃子（スポーツ推進委員） 藤本 祐司（教委職員） 三浦 茉畝（教委職員） 対象：各学園1～6年生	講師謝礼 24千円 スポーツ推進委員 報酬10千円	
講習会	④運動・トレーニング指導「ゆうふいっと。」	4月～3月	湧別総合体育館ほか	町民の健康維持増進と体力の向上を図るとともに、運動の重要性を理解していただき、スポーツを継続してもらい、トレーニング室の利用者増加に繋げる。今年度より「ゆうふいっと。」と事業名を定め、町民への認知度を高めるとともに参加者の増加に務める。また、「ゆうふいっと。プラス」として夜にも開催し若年層への参加も促していく。 ■ゆうふいっと。 ■ゆうふいっと。プラス ・開催回数：月3回 ・開催回数：月1回 ・講 師：教委職員 ・講 師：外部委託	委託料 501千円	9-1 9-2 9-3 9-4
	⑤湧別町・レバンガ北海道スポーツ推進事業	4月～3月	湧別総合体育館ほか	レバンガ北海道アカデミーコーチを派遣し、バスケットボールに関わる子どもたちの能力向上はもちろんだが、スポーツをする楽しさを実感していただく。また、バスケットボールをしていない子どもにも運動の大切さを実感してもらう。 予定事業 ①ミニバス少年団、中・高バスケットボール部の定期巡回指導 ②学校授業訪問や町主催事業への参加	委託料 2,574千円	
スポーツ推進委員事業	①チャレンジスポーツスクール事業	5月～3月	湧別総合体育館ほか	各学園（1～3年生）を対象に毎月1回、様々なスポーツ体験を通じて、スポーツの楽しさや学校を越えた仲間づくりの一助とする。※事業内容は変更になる場合有 5月 入学式・かけっこ教室（上湧別百年記念公園広場） 6月 器械体操（湧別総合体育館） 8月 キャンプ（湧別総合体育館裏） 9月 五鹿山マラソン（五鹿山スキー場） 10月 タグラグビー（湧別総合体育館） 11月 バスケットボール1（湧別総合体育館） 12月 バスケットボール2（湧別総合体育館） 1月 スケート体験・氷上ホッケー（芭露スケートリンク） 2月 バドミントン（湧別総合体育館） 3月 ミニ運動会・卒業式（湧別総合体育館） 指導者：スポーツ推進委員、各スポーツ団体指導者 対 象：各学園1～3年生	講師謝礼 器械体操 20千円 かけっこ教室 15千円 タグラグビー 5千円 バドミントン 5千円 スポーツ推進委員 報酬268千円	9-1 9-2 9-3

令和7年度社会教育事業計画

領域	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容	予算額	中期計画 推進項目
スポーツ推進委員事業	②巡回スポーツ指導	随 時	町 内	自治会・老人クラブ等の要請に基づき、スポーツ推進委員が出向き、ニュースポーツの指導を行う。	スポーツ推進委員報酬13千円	9-2 9-3
	③スポーツ推進委員研修	随 時	管 道 内	町民のスポーツ活動の的確な支援を行うため、研修を通じて委員としての資質向上を図る。 遠軽・紋別地区スポーツ推進委員研修会 湧別町 オホーツク管内社会体育振興セミナー 湧別町 北海道スポーツ推進委員研究協議会 岩内町	スポーツ推進委員報酬153千円	9-2
団体活動の育成援助等	①少年スポーツ団体の育成援助	年 間	-	少年団本部への補助	補助金600千円	9-2 9-4
	②一般スポーツ団体の育成援助	年 間	-	体育協会への補助	補助金671千円	
	③大会出場助成	年 間	-	全道大会以上の出場者に対して遠征費の一部を助成する。 (湧別町スポーツ・文化遠征費補助金)	補助金2,000千円	9-2
	④合宿誘致助成	年 間	各施設	合宿を誘致することにより町のスポーツの振興を図る。 (湧別町スポーツ・文化合宿誘致事業補助金)	補助金1,854千円 詳細は別紙関連事業に記載のとおり	9-1
施設の整備活用	①施設の整備	年 間	各施設	施設の点検、適正な維持管理を図る。	詳細は別紙社会教育施設整備計画のとおり	9-4
	②施設の活用	年 間	各施設	指定管理施設の適正かつ効率的な運営に対する監督、学校開放施設に関する利用調整など体育施設の有効活用を図る。	学校開放運営報償60千円	
その他	①スポーツ安全保険の加入促進	随 時	-	広報周知等 インターネット（スポあんネット）にて加入する。	手数料1千円	9-1

令和7年度 関連事業（後援・連携事業等）

団体名	事業名	期 日	場 所	計 画 内 容 等
体育協会	ゆうべつ五鹿山マラソン2025	9/7(日)	五鹿山スキー場	五鹿山スキー場を駆け上がるマラソン大会を実施することにより、町民の体力増進や健康づくりを高めるきっかけづくりと地域の更なる一体感の醸成を図ることを目的とする。
スケート協会	第56回湧別町スケート大会	R8. 1/31(土)	芭露スケートリンク	1周300mシングルトラックタイムレース（男女混合学年別） 未就学児、小学生、中学生、一般、アトラクション（宝さがし他）
実行委員会	ゆうべつアクティブチャレンジ2025	9/6(土) ～13(土)	町 内	笹川スポーツ財団主催である住民総参加型のスポーツイベント「アクティブチャレンジ」に参加し、町民の健康づくりや体力づくり、スポーツやレクリエーション活動への参加意欲の高揚と習慣化を推進する。
	【新規】 稚内高校吹奏楽部合宿	7月	文化センター さざ波	吹奏楽合宿のほか、町内の中学校、高校と合同での演奏会などを開催することで、吹奏楽の普及を図るとともに他生徒との交流を図る。
	駒澤大学合気道部合宿	8月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定
	合気道正道友和会合宿	9月	湧別町武道館	合宿中に行われる公開練習や演武会、教室等の開催により合気道の普及を図るとともに町民との交流を図る。 合宿予定人員：20名予定
	北柔会関連道場柔道合宿	10月	湧別総合体育館	柔道合宿のほか、町内の子ども達に対する柔道教室を開催することで、柔道の普及、交流人口の拡大を図る。 合宿予定人員：40名予定
	第40回湧別原野林-ツカスカトリ-スキー大会	R8. 2/22(日)	遠軽町→湧別町	原野コース80km、北大雪コース56km、遠軽コース22km、湧別コース24km、10kmコース、5kmコース、駅伝コース95km

令和7年度社会教育施設整備計画（500千円以上または主要なもの）
（単位：千円）

施 設 名	改修・整備等内容	事業費	備 考
湧別プール	鉄骨塗装工事	8,740	
湧別武道館	照明ＬＥＤ化工事	1,960	
中湧別ゲートボール場	照明ＬＥＤ化工事	5,150	
芭露パークゴルフ場	乗用芝刈機購入	2,300	

議案第 2 号

ゆうべつアクティブチャレンジ 2025 事業計画について

チャレンジデー2024の実施に当たっては、令和5年度で公益財団法人笹川スポーツ財団が主催する全国一斉のチャレンジデーが終了し、湧別町独自のチャレンジデーとして実施いたしました。スポーツの日を最終日（10月14日）とし、前1週間をチャレンジ期間として開催され、多くの住民等の皆さんに参加をいただき、事故等もなく成功裏に終了することができました。

この度、公益財団法人笹川スポーツ財団が、新たな住民総参加型スポーツプログラム「SSF アクティブチャレンジ～スポーツで元気なまちづくり」を2025年度より開始することとなりました。本プログラムは、チャレンジデー同様、住民の運動・スポーツの習慣化の促進に加えて、各地域で抱える社会課題解決に向けた取り組みを行うものです。

本町においては、笹川スポーツ財団が主催する全国一斉のチャレンジデーに令和2年度より参加してまいりました。また、令和6年度におきましては、湧別町独自のチャレンジデーを開催してきたことから、本プログラムに参加し、湧別町としての地域課題を解決するきっかけづくりとなるよう「ゆうべつアクティブチャレンジ 2025」を実施していきます。

実施期間としては、昨年より1か月日程を早め、9月6日（土）から13日（土）の1週間をチャレンジ期間としてより参加しやすくします。

本実行委員会としては、住民の健康づくり、スポーツレクリエーション活動への参加意欲を高めるとともに、地域で抱える社会課題解決に向けた取り組みを行い、住民及び地域のさらなる一体感と活力の醸成を図り、住民、団体、事業者及び行政との協働による地域づくりを推進していきます。

○ゆうべつアクティブチャレンジ 2025 について

1. 開催日時

令和7年9月6日（土）から13日（土）までの8日間

2. 参加対象

チャレンジ期間内に湧別町内にいる人すべてが対象です。町民以外にも通勤・通学者、観光客なども対象となります。

3. 参加者集計

本実行委員会事務局（社会教育課）に集計センターを設置し、期間の参加者数（延べ参加者数）を集計します。

4. 参加方法

◆実施種目（プログラム）

行う運動やスポーツで、個人や家族で日常的に実施するもののほか、実行委員会、団体及び職場等が任意に設定できます。実施プログラムの内容によって、インストラクターなどの指導者の派遣を必要とする場合は、実行委員会事務局（社会教育課）にご相談ください。

◆参加報告

町公式ホームページの報告フォーム、ファックス、電子メール、電話で実行委員会事務局へ参加報告を行っていただきます。

5. 実施プログラム

◆実行委員会等が主催するプログラム（予定）

【社会課題解決型プログラム】

①異業種間交流スポーツ大会（ベースボール5）

各事業所で5人1チームを結成し、対決する。自分の業種と異なる方とスポーツを通じて出会い、交流するとともにチームワークを高め仕事の生産性を高めることを目的とした大会。

②世代間交流スポーツ大会（モルック大会）

ルールがシンプルで、老若男女や障がい者など幅広い層が楽しめるモルックを行うことで地域コミュニティを活性化させるプログラム。

③認知症予防健康体操会

認知機能の維持や向上を図ることを目的とした認知症予防健康体操を湧別町主催の敬老会にて実施するプログラム。

【その他プログラム】

④五鹿山マラソン大会、⑤町民ラジオ体操会、⑥元気まつり

⑦健康ヨガ体操、⑧大筋クラブ、⑨育児学級運動会、⑩ゆうふいっと。

⑪スポーツ施設無料開放

◆サークル及び団体で実施するプログラム

各団体の日常の活動に加えて、創意工夫により主体的にプログラムを企画していただくよう、また、通常、別の日程で行っている取り組みをアクティブチャレンジに合わせて実施していただくよう実行委員会構成団体をはじめ各サークルに依頼します。

地域の連帯感を強めるため、自治会、産業団体等の青年部や女性部等においては、それぞれの団体が連携・協力してアクティブチャレンジに取り組んでいただけるよう依頼します。実行委員会プログラムへ自治会として参加することをご検討ください。

なお、自治会における独自のプログラム企画・実施に当たっては、積極的な地域スタッフの活用を推奨します。

◆個人で実施するプログラム

個人や家族単位で散歩・ウォーキング、ジョギング、ラジオ体操・軽い体操、筋力トレーニング、サイクリングなど、運動やスポーツを楽しんでいただくよう啓発します。

※サークル、団体、個人で実施するプログラムとして、学校の授業や部活動、農業や漁業等の仕事を含めることはできませんので、ご注意ください。

6. 参加特典

実行委員会主催のプログラムに参加された方には、参加賞を進呈するほか、団体、サークル、事業所単位でプログラムを実施される場合には、プログラム参加者数分の参加賞を用意します。

※団体等において複数のプログラムを実施する場合でも、参加賞の受け取りは、一団体1回までとします。

7. 町民周知・広報

町公式HPへの掲載、周知用チラシの新聞折込、実行委員会構成団体、スポーツ団体、町内事業所及び企業へ参加依頼などにより、住民の参加を促します。

8. 実施報告

アクティブチャレンジの実施結果については、広報ゆうべつ及び町公式ホームページなどで町民へ速やかに報告します。

ゆうべつアクティブチャレンジ2025 実行委員会プログラム

○社会課題解決プログラム

プログラム	日程（予定）	テーマ	概要	期待される効果
異業種間交流スポーツ大会 「ベースボール5」	9月12日(金) 10:00～	異業種間の交流	各事業所ごとで5人1チームを結成し、対決する。自分の業種と異なる方とスポーツを通じて出会い、交流するとともにチームワークを高め仕事の生産性を高めることを目的とした大会。	自分の業種と異なる分野の方と出会うことができ、新しい視点やアイデアを学びやすくなる。また自分のネットワークを広げることが容易になり、地域の活性化に繋がる。
年齢も性別も国籍も障がいだって関係ない！モルックでつながるまちづくり	9月13日(土) 10:00～	コミュニティづくり	ルールがシンプルで、老若男女や障がい者など幅広い層が楽しめるモルックを行うことで地域コミュニティを活性化させるプログラム。	世代や障がいの有無などを越えたつながりと、地域住民がお互いに支えあう関係性の醸成
認知症予防健康体操会	9月9日(火) 9月10日(水)	高齢者の健康推進	湧別町主催の敬老会にて着座のままできる簡単な健康体操を実施する。	認知症予防と健康づくりの推進を図る。

○その他実行委員会プログラム

プログラム	日程（予定）	対象	概要
五鹿山マラソン大会	9月7日(日) 9:00～	一般町民	最大斜度24度もある五鹿山スキー場の麓から頂上までを登り下りしながら駆け抜ける過酷なレースで町内外から多くの方が参加する大会。
町民ラジオ体操会	9月13日(土) 9:00～	一般町民	町内3か所でラジオ体操とウォーキングを実施。
元気まつり2025	9月13日(土) 10:00～	一般町民	湧別町健康づくり推進協議主催による健康づくりイベント。
健康ヨガ体操	未定	一般町民	ヨガ講師を招いてのヨガ教室。
大筋クラブ	9月12日(金) 9:00～	大筋クラブ登録者	介護予防教室である大筋クラブを実施する。
育児学級運動会	未定	乳幼児と保護者	乳幼児と育児期間中の保護者の交流と心身のリフレッシュのためのスポーツ教室。
ゆうふいっと。	9月11日(木) 10:00～	ゆうふいっと。登録者	運動指導士によるストレッチや筋トレなどの健康運動教室。
スポーツ施設無料開放	9月6日(土)～13日(土)	一般町民	対象期間中町内スポーツ施設を無料開放し、運動をするきっかけづくりの場を提供する。

第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン 開 催 要 項

主 催 (一財)北海道陸上競技協会・北見市・湧別町・佐呂間町・北海道新聞社
主 管 サロマ湖 100km ウルトラマラソン実行委員会・オホーツク陸上競技協会
後 援 国際ウルトラランナーズ協会 (I A U) ・北海道・北海道教育委員会
(公財)北海道スポーツ協会・(公社)北海道観光振興機構・(公財)北海道市町村振興協会・
NHK北見放送局・北見市スポーツ協会、湧別町体育協会、佐呂間町スポーツ協会・
(一社)北見市観光協会常呂支部・湧別町観光協会・佐呂間町観光物産協会・北海道救
急医学会

企画運営協力 (一財)アールビーズスポーツ財団

種 目 陸連登録者の部(100km) 一般の部(100km・50km)

期 日 2025年 6月29日(日)

100kmの部 午前 5時 湧別総合体育館前スタート

50kmの部 午前10時 佐呂間町100年広場前スタート

コ ー ス サロマ湖 100km ウルトラマラソンコース IAAF/AIMS 認証・日本陸連公認

100kmの部 湧別総合体育館前スタート 北見市常呂町スポーツセンター ゴール

50kmの部 佐呂間町 100 年広場前スタート 北見市常呂町スポーツセンター ゴール

競技規則 2025 世界陸上競技連盟競技規則及び 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会
申し合わせ事項により行う。

参加資格 (1) 100km を 1 3 時間以内で完走できる走力を有する男女

50km を 8 時間以内で完走できる走力を有する男女

(2) 車椅子での参加は不可

(3) 大会当日に 1 9 歳以上の男女

競技方法 (1) 関門での打ち切り時刻を次のとおり設定し、制限時間内に関門通過できない場合は、
以降のレースを続けることはできない。(距離・時間は、多少変更になる場合あり。)

100Km の部	10km 6:23	20Km 7:39	30Km 8:55	41Km 10:20	50Km 11:30	60Km 12:48	69Km 13:59	79.3Km 15:19	91.5Km 16:54	ゴール 18:00
50Km の部						10Km 11:30	19Km 13:59	29.3Km 15:19	41.5Km 16:54	ゴール 18:00

(2) 各関門通過後、次関門の打ち切り時刻を過ぎた場合は速やかにレースを中止しなければならぬ。

(3) 関門の打ち切り時刻を過ぎた選手及びレースの中止を命じられた選手はナンバーカードを取り外し、最後尾の選手収容車に乗車すること。

(4) 本大会記録は、ランナーズチップにて計測する。

募集人員 100km の部：3, 550 人 50km の部：550 人

参 加 料 100km の部：21,000 円 50km の部：15,000 円

事前発送費：1,000 円(事前発送のみとする。)

*参加料・事前発送費は原則、返金しない。

*大会中止の場合、参加賞等を事前発送する。

募集期間 2025年1月27日(月)午後 8時から

2025年2月14日(金)午後11時59分まで(定員を超えた場合は締め切る)

表 彰 (1) 6月29日(日)北見市常呂町百年広場で実施

(2) 各種目男女総合1位から3位までの入賞者

(3) 100km 陸連登録者の部の男女優勝者に日本陸上競技連盟より陸連杯を贈呈

(4) 完走者全員に完走メダルを授与

ドーピングコントロール 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則

第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン／参加者内訳

◆種目別参加者内訳(人)◆

種目名	人数
100K登録男子	559
100K登録女子	81
小計	640
100K一般男子	2,593
100K一般女子	448
小計	3,041
100K合計	3,681
50K男子	394
50K女子	197
50K合計	591
合計	4,272

◆招待選手(人)◆

種目名	人数	選手名
100K登録男子	2	
100K登録女子	3	
100K男子	2	
100K女子	3	

◆最年少・最高齢

種目名	最年少		最高齢	
	男子	女子	男子	女子
100km	20	20	86	72
50km	21	20	81	84

◆都道府県別参加者内訳(人)◆

都道府県	男子	女子	合計	東北
北海道	1686	328	2,014	
青森県	11	0	11	
岩手県	10	1	11	
宮城県	20	4	24	
秋田県	9	1	10	
山形県	6	1	7	
福島県	6	0	6	
茨城県	35	5	40	
栃木県	15	2	17	
群馬県	19	7	26	関東
埼玉県	132	25	157	
千葉県	117	13	130	
東京都	546	129	675	
神奈川県	252	53	305	
新潟県	19	1	20	
富山県	13	3	16	
石川県	11	2	13	
福井県	5	0	5	
山梨県	6	2	8	
長野県	19	6	25	北陸・甲信
岐阜県	11	1	12	
静岡県	35	6	41	
愛知県	80	17	97	
三重県	12	3	15	
滋賀県	19	1	20	
京都府	40	8	48	
大阪府	140	34	174	
兵庫県	87	16	103	
奈良県	18	3	21	中国・四国
和歌山県	7	0	7	
鳥取県	3	0	3	
島根県	1	0	1	
岡山県	10	2	12	
広島県	15	6	21	
山口県	4	1	5	
徳島県	13	22	35	
香川県	11	2	13	
愛媛県	11	2	13	九州・沖縄
高知県	10	1	11	
福岡県	34	11	45	
佐賀県	4	0	4	
長崎県	0	0	0	
熊本県	4	1	5	
大分県	2	1	3	
宮崎県	2	0	2	
鹿児島県	6	1	7	
沖縄県	9	0	9	海外
海外	21	4	25	

◆年代別参加者内訳(人)◆

	100K				100K 計	50K		50K 計	合計
	登録 男子	登録 女子	一般 男子	一般 女子		男子	女子		
10歳代					0			0	0
20歳代	19	5	162	24	210	21	4	25	235
30歳代	61	11	288	50	410	29	8	37	447
40歳代	139	14	676	112	941	66	39	105	1,046
50歳代	220	33	920	184	1,357	107	86	193	1,550
60歳代	107	18	466	75	666	101	50	151	817
70歳代	12		81	3	96	68	9	77	173
80歳代	1				1	2	1	3	4
小計	559	81	2,593	448	3,681	394	197	591	4,272

◆エリア別参加者内訳(人)◆

エリア	男	女	計	割合
北海道	1,686	328	2,014	47.14
(北見市)	124	26	150	3.51
(湧別町)	15	7	22	0.51
(佐呂間町)	20	6	26	0.61
東北	62	7	69	1.62
関東	1,116	234	1,350	31.60
北陸・甲信	73	14	87	2.04
東海・近畿	449	89	538	12.59
中国・四国	78	36	114	2.67
九州・沖縄	61	14	75	1.76
海外	21	4	25	0.59
計	3,546	726	4,272	

◆1市2町種目別参加者内訳(人)◆

種目	北見市		湧別町		佐呂間町		計
	男	女	男	女	男	女	
100K登録の部	6						6
100K一般の部	72	10	8		10		100
50Kの部	46	16	7	7	10	6	92
合計	124	26	15	7	20	6	198

第40回サロマ湖100kmウルトラマラソン／湧別町・佐呂間町情勢

【湧別町 22名】

氏名カナ	氏名漢字	所属クラブ名	種目名
イシワ カツミ	石川 克己	YSAC	100K男55～64
イトウ ヤスト	伊藤 康人		100K男45～54
イン カズヨ	因 和代	グッジョブ	50K女55～64
オガサワラ ジュン	小笠原 淳		50K男45～54
カリタ カナエ	刈田 かなえ	YSAC	50K女55～64
クドウ シュウト	工藤 柊翔		50K男18～24
クドウ タケシ	工藤 健		50K男45～54
クドウ ユキタカ	工藤 雄希峰	工藤漁業部	100K男35～44
クドウ リンカ	工藤 凜果		50K女18～24
コジマ ケンジ	小島 顕治		50K男55～64
コンドウトモヒロ	近藤 智広	開拓人	50K男45～54
サワグチ トシヒロ	澤口 敏洋	太陽の丘XC	100K男45～54
ソエジマ ヨウヘイ	副島 庸平		50K男45～54
テラニシ タカコ	寺西 貴子		50K女35～44
フジモト リョウ	藤本 竜		100K男18～24
マエダ ヒロコ	前田 浩子		50K女45～54
ミズマキ イチロウ	水牧 一郎	YSAC	100K男45～54
ミネタ ミナル	峯田 実	YSAC	100K男35～44
モウリ ミキコ	毛利 美紀子	オホツク原人会	50K女55～64
ヤマグチ ヒデカス	山口 秀数	無所属新人	50K男55～64
ヨリタ カオリ	依田 歌織	YSAC	50K女45～54
ヨリタ コウジ	依田 広司	YSAC	100K男45～54

湧く湧く「社会教育委員のある一日」 記事寄稿の順番について
令和7年度

※原稿締切日の1カ月前くらい前に依頼文書を送付いたします。

社会教育委員	スポーツ推進委員	図書館協議会委員	計画	原稿締切日
平野 寿雄			R 6 年 4 月号	3 月下旬
	黒田 志津保		R 6 年 5 月号	4 月下旬
杉原 武純			R 6 年 6 月号	5 月下旬
	白田 ゆかり		R 6 年 7 月号	6 月下旬
毛利 美紀子			R 6 年 8 月号	7 月下旬
		藤井 清美	R 6 年 9 月号	8 月下旬
	海谷 政貴		R 6 年 10 月号	9 月下旬
渡辺 香織			R 6 年 11 月号	10 月下旬
	岸下 綾乃		R 6 年 12 月号	11 月下旬
鈴木 由美子			R 7 年 1 月号	12 月下旬
		佐上 義朗	R 7 年 2 月号	1 月下旬
	遠藤 真愛		R 7 年 3 月号	2 月下旬
工藤 雄希峰			R 7 年 4 月号	3 月下旬
	水牧 一郎		R 7 年 5 月号	4 月下旬
菅原 恵介			R 7 年 6 月号	5 月下旬
	藤本 竜		R 7 年 7 月号	6 月下旬
橋本 純子			R 7 年 8 月号	7 月下旬
			R 7 年 9 月号	8 月下旬
	今野 愛海		R 7 年 10 月号	9 月下旬
田渕 徹平			R 7 年 11 月号	10 月下旬
	太田 愛		R 7 年 12 月号	11 月下旬
米本 志真			R 8 年 1 月号	12 月下旬
			R 8 年 2 月号	1 月下旬
	石川 克己		R 8 年 3 月号	2 月下旬